



オリンパス本社跡地再開発について、 住民説明会の開催と7号通り公園の存続を求める請願

紹介議員

【請願趣旨】

三井不動産レジデンシャルは、幡ヶ谷2丁目のオリンパス本社跡地に、地上45m430戸、駐車場110台を備える高層分譲マンションを建設しようとしています。

住民からは、巨大な分譲マンションができることに対して、「自宅が日陰になるのでは」、「風害がひどくなる」、「子どもが増えると、学校があふれるのでは」、「商業施設ができれば、近隣商店街は大打撃になる」など、住生活環境に対する不安が広がっています。ところが、住民に対する説明は何もありません。

また渋谷区は、マンション駐車場の出入口をつくるために、区立7号通り公園を、用地の西側(ひだまり公園側)に移設しようとしています。7号通り公園は、住民が毎朝ラジオ体操で使い、地域の様々な行事にも使われるなど、かけがえのない憩いの場です。水道道路の歩道を分断して出入口をつくれれば、交通安全上の危険が増大するとの不安も広がっています。住民や地元町会などから、三井不動産レジデンシャルの便宜のために公園を移設することに、強い反対の声が上がっています。

住民の声を尊重し、安心して住み続けられるよう渋谷区が責任を果たすことを求めて、以下の通り請願します。

【請願項目】

- 一、三井不動産レジデンシャルに対して、幡ヶ谷2丁目の分譲マンション建設について、広く住民の声を聞く説明会を開くよう求めること。
- 一、7号通り公園の移設は中止し、現状のまま存続すること。

氏名	住所

【取扱団体】 幡ヶ谷の住環境を守る会
渋谷区幡ヶ谷 3-7-3
代表 白男川 まり子

2026年 月 日
渋谷区議会議員長 一柳 直宏 殿

オリンパス跡地再開発に対する署名運動始まる

主役は住民、説明会開け！7号通り公園守れ！の声届けましょう

三井不動産レジデンシャルは、オリンパス本社跡地再開発で、1万㎡の土地に地上45m、430戸、110台の駐車場の分譲マンションを整備しようとしています。

また渋谷区は、三井不動産の分譲マンションから水道道路への出入口を設けるために7号通り公園の一部を移設する計画を進めています。

この出入口の設置によって、分譲マンションの資産価値は高くなる一方、住民のくらしや安全が切り捨てられることになりま。

長や所管部署に、7号通り公園の存続を求める要望書を提出していますが、区は町会の声を無視し、区民の憩いの場のあり方にかかわる問題にもかかわらず、住



三井不動産と渋谷区が進めようとしている計画

「三井不動産と渋谷区が進めようとしている計画」について、住民有志が「幡ヶ谷の住環境を守る会」を結成し、区議会に住民の声をとどける署名運動を始めました。(左掲参照)

三井不動産レジデンシャルの儲け優先の計画を、主人公である住民の声を無視して進めさせることは許されません。ぜひ署名にご協力をお願いします。

民に説明しようとしてもしていません。また、私が昨年の第3回区議会定例会で、広く住民の声を聞く説明会を開くよう三井不動産に求めるべきと区長に質したにもかかわらず、三井不動産は説明会も開いていません。

この間も住民から、「今でも幡ヶ谷駅のホームは客があふれて危険なのに、住民が増えたらさらに危険が増す」、「ひだまり公園と移設した公園を子どもが行き来すると交通安全上問題」などの声が上がっています。